

千葉市美浜文化ホール 感染症予防対策・チェックシート

利用日： 年 月 日

利用区分：AM・PM・NT

利用施設：メインホール / 音楽ホール / リハーサル室 / 会議室 / 第1スタジオ / 第2スタジオ

感染予防対策を行った上で、利用いたします

団体名：

ご利用者様自署：

チェック項目	チェック
① 定員は管理者の定める収容定員（※1）を遵守し、入退場時、場内でのソーシャルディスタンスに配慮します。	
② 来場者および出演者（練習の場合は参加者）＜※以下、利用者とする＞に、マスク着用を促します。 ※舞台上はその限りではありません（詳細は裏面を参照ください）	
③ 利用者には利用施設へ入場する前に、手指の消毒、または手洗いの励行を周知します。	
④ 利用者には、必ず利用当日の検温を促します。風邪の症状や発熱等、体調不良等の場合には、来館自粛を促します。	
⑤ 接触感染防止策として、施設内の不特定多数が触れやすい場所（ドアノブ、受付台等）はふき取り消毒を適宜行います。（消毒液は主催者でご用意ください） ※利用前に施設スタッフが消毒・清掃を行っております。 ※ホール所有の楽器、音響機材等へのスプレー式消毒液の吹き付けは厳禁	
⑥ 利用中はこまめに休憩時間を設けるなど、感染予防に努めます。（施設の空調は外気を循環させております）	

＜各施設利用人数の利用制限時の定員＞

※1 管理者の定める収容定員（R4/10/6 現在）

- ・メインホール：歓声等がない公演 100%（354 席）／歓声等がある公演 50%（177 席）
- ・音楽ホール：歓声等がない公演 100%（152 席）／歓声等のある公演 50% （76 席）

※共に車いす席含む

会議室（45 人）／リハーサル室（100 人）／第1、第2スタジオ（各 10 人）

楽屋 メインホール：楽屋1（3 人）楽屋2、3（10 人）、楽屋4（20 人）

音楽ホール：楽屋A（3 人）、楽屋B（10 人）

施設が定める定員でのご利用が可能となります。

ただし引き続き、できる限りのソーシャルディスタンス確保、会話時のマスク着用、飲食時（楽屋・会議室）は会話を控えるなど、感染予防対策を行った上でご利用をお願いいたします。

施設確認者

＜特記事項＞

- ・メインホール、音楽ホールには非接触式セルフ検温機が各 1 台常設されています。
- ・催し物内容によってはご利用の制限を依頼する場合がございます。（裏面参照）
- ・“3密”回避のため、事前に内容確認をさせていただき、適宜変更をお願いする場合があります。

利用の制限等については緩和されつつありますが、引き続き、感染予防対策を行っていただきますようお願いいたします（下記、注意事項参照）。
また各音楽・芸術団体等の感染予防対策ガイドラインを参照ください。

	項目	制限理由	利用条件
△	声楽・オペラ・ 詩吟・民謡・歌謡 (カラオケ)等	歌唱による飛沫感染リスクが高いため	十分な対策 ※注意事項 1
△	合唱・コーラス	密集しての高唱、飛沫感染リスクが高いため	十分な対策 ※注意事項 1
△	歌声コンサート	ご来場者様の歌唱による飛沫感染リスクが高いため	十分な対策 ※注意事項 1
△	ミュージカル	密接しての歌唱・演出等が含まれる可能性が高いため	十分な対策 ※注意事項 1
△	社内研修会等	対面でのワークショップ、ディベートなどの密集・密接、決起集会等による社歌斉唱、掛け声による飛沫感染リスク等	十分な対策 ※注意事項 1
	社交ダンス スクエアダンス フォークダンス	身体的接触による感染リスクが高いため	十分な対策
	その他	密接・密集しての演出、また飛沫感染リスクの高い演目が含まれる催物	十分な対策

注意事項 1 【 発声を伴う活動 】

- ア マスクは飛沫拡散防止の効果があるため着用が望ましいが、マスクをせずに合唱する場合は、合唱者間の距離は前後2m、左右1m程度を確保し、向かい合う配置は避ける（マスクを着用した際は前後1m、左右1m程度を確保）
- イ 指導者・伴奏者との距離を確保すること。歌唱者と客席の間は2m以上確保する
- ウ マイクを使い回して使用する場合は、使用者が変わる毎にマイクのふきとり消毒を行う
- エ 体操等のウォーミングアップは身体的接触をしないように注意する
- オ 楽譜・プリントなどの共有は極力避ける